



交通事故死7年ぶり増

県24年内 53人、人対車両大幅増

2024年の鹿児島県内の交通事故死者数は前年より13人多い53人となり、17年以來7年ぶりに増加に転じたことが7日、県警のまとめで分かった。死亡事故52件のうち事故類型で人対車両が21件（前年比11件増）と大幅に増えた。死者数は都道府県別でみると全国で19番目に多く、人口10万人当たりの数は3・42人で9番目に多かった。

県警交通企画課によると、事故類型は車両単独19件（同2件増）、車両同士12件（同増減なし）だった。24年の特徴としてこの他、夜間の発生26件（同15件増）や横断歩道以外での横断歩行中13人（同10人増）、運転手の前方不注意20件（同11件増）が挙げられるという。

死者のうち65歳以上の高齢者は32人（同4人増）で、22年連続で半数を超えた。夜間の事故で亡くなった歩行者は14人（同8人増）で、夜光反射材を身につけていた人はいなかった。

交通事故の発生件数は2871件（同94件減）、重傷者数は391人（同16人減）だった。

同課の森山英明理事官は「夜間は本来に必要な外出に絞り、反射材の着用などを徹底して身を守ってほしい。車は凶器にもなり得ると改めて認識し、思いやりと余裕を持った運転を求めたい」と訴えた。

- 【問1】 2024年の鹿児島県内の交通事故死者数は、何人だったのでしょうか。
53人
- 【問2】 2023年と比べると何人どうなったのでしょうか。
13人増えた
- 【問3】 死者数は都道府県別で見ると何番目に多かったのでしょうか。
19番目
- 【問4】 人口10万人当たりの数では、何人で何番目に多かったのでしょうか。
3.42人で9番目
- 【調べてみよう】 通学路で危険な場所はないか、どんなことに気を付ければよいか考えてみよう。

むずかしい漢字とことば

事故(じ・こ) 増加(ぞう・か) 県警(けん・けい) 死亡(し・ぼう) 件(けん)
 事故類型(じ・こ・るい・けい) = 事故を当事者の種類(人や車両)や事故時の行動によって分類したもの。
 前年比(ぜん・ねん・ひ) = 前の年とくらべて。 大幅(おお・はば) 増(ふ)え
 企画(き・かく) 単独(たん・どく) 同士(どう・し) 特徴(とく・ちょう) 横断(おう・だん)
 歳(さい) 高齢者(こう・れい・しゃ) 超(こ)え 亡(な)くなった 反射材(はん・しゃ・ざい)
 減(げん) 重傷(じゅう・しょう) 絞(しぼ)り 徹底(てっ・てい) 凶器(きょう・き)
 (うる) 認識 (にん・しき) 余裕(よ・ゆう) 訴(うった)え